



2020.9.4

欧州復興開発銀行が発行する米ドル建債への投資について ～債券投資を通じて新型コロナウイルス感染症対策を支援～

静岡銀行（頭取 柴田 久）では、SDGsへの取り組みの一環として、欧州復興開発銀行（EBRD）が発行する「米ドル建債」への投資を行いましたので、その概要をご案内します。

1. 投資の内容

- 欧州復興開発銀行では、本年3月、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による経済的影響に対応するため、今後2年間にわたる総額210億ユーロ（約2.6兆円）の対策プログラムを発表しています。
- 本債券は、欧州復興開発銀行が取り組むさまざまなプロジェクトを推進するために発行したもので、調達資金は新型コロナウイルス感染症の対策プログラムにも充当されます。
- 静岡銀行では、今後も、社会的課題や環境問題の解決など社会貢献に資するESG投資に積極的に取り組んでいく方針です。

2. 投資概要

発行体	欧州復興開発銀行
投資額	額面5,000万米ドル（約53億円）
格付け	・ムーディーズ/Aaa ・スタンダード&プアーズ/AAA ・フィッチ/AAA
償還日(期間)	2025年5月19日（約5年）
アレンジャー	大和証券株式会社

※欧州復興開発銀行は、1991年に設立された国際金融機関で、日本を含む69カ国および欧州連合、欧州投資銀行が出資しています。旧共産主義国における開放された市場指向型経済への移行支援で重要な役割を果たし、支援対象域内のすべての人々へビジネス機会を提供しており、その支援対象は、現在では3大陸に渡ります。

